

平成17年度論文・報告等執筆一覧

[企画部]

- ・菱山剛秀・木村俊明・富田光治(2005)：浅間山の噴火に対する国土地理院の対応，国土地理院時報，第107集，3-4.
- ・箱岩英一・木村俊明・富田光治(2005)：平成16年の梅雨前線豪雨及び台風災害に関する国土地理院の対応，国土地理院時報，第107集，21-22.
- ・箱岩英一・木村俊明・富田光治(2005)：平成16年(2004年)新潟県中越地震災害に関する国土地理院の対応，国土地理院時報，第107集，31-33.
- ・菱山剛秀・木村俊明・富田光治(2006)：2004年スマトラ島沖大規模地震及びインド洋津波被害に関する国土地理院の対応，国土地理院時報，第109集，1-2.
- ・富田光治・菱山剛秀・木村俊明(2006)：平成17年(2005年)福岡県西方沖を震源とする地震に関する国土地理院の対応，国土地理院時報，第109集，33-34.
- ・大塚孝治・久保紀重・小荒井衛(2006)：地理情報標準プロファイル(JPGIS)の作成，国土地理院時報，第109集，91-97.

[測地部]

- ・沼川邦男・志茂久男・根本恵造・秋山忠之・真野宏邦・岩田和美・山田晃子(2005)：浅間山の火山活動を監視するGPS火山変動リモート観測装置の設置，国土地理院時報，第107集，5-8.
- ・沼川邦男・平井英明・白井康友・志茂久男・根本恵造・大滝三夫・土井弘充・斉藤正・真野宏邦・湊敏弘・田上節雄・徳留護・菅原準・河和宏・田中愛幸・住谷勝樹・井上武久・千葉浩三・山田晃子・岩田和美・千田進一・齋田宏明・斉藤郁夫・伊藤純一・山中雅之(2005)：平成16年(2004年)新潟県中越地震に対する測地部の取り組み，国土地理院時報，第107集，35-44.
- ・土井弘充・白井康友・大滝三夫・斉藤正・湊敏弘・千葉浩三・井上武久・住谷勝樹・菅原準・田中愛幸・齋田宏明・矢萩智裕・小島秀基・湯通堂亨・雨貝知美・岩田昭雄(2005)：平成15年(2003年)十勝沖地震に伴う基準点成果の改定，国土地理院時報，第108集，1-10.
- ・藤原智・仲井博之・飛田幹男(2005)：干渉SARによる全国の地盤沈下検出に向けて，国土地理院時報，第108集，11-19.
- ・平岡喜文・木村勲・福田洋一・土井浩一郎・澁谷和雄(2005)：可搬型絶対重力計FG5による南極における重力測定()，国土地理院時報，第108集，21-27.
- ・藤原智・仲井博之・板橋昭房・飛田幹男・矢来博司(2005)：JERS-1干渉SARによる小空間スケール地表変位の検出 - 有明海周辺干拓地における田の沈下・隆起 - ，測地学会誌，51巻，4号，199-213.
- ・田中愛幸・奥野淳一・大久保修平(2006)：A new method for the computation of global viscoelastic post-seismic deformation in a realistic earth model (I)-vertical displacement and gravity variation(現実的な地球モデルにおけるポストサイスミックな変動の新しい計算手法(I) - 垂直変位と重力変化 -)，Geophysical Journal International，164，273-289.
- ・藤原智・飛田幹男・佐藤浩・小沢慎三郎・宇根寛・小荒井衛・仲井博之・藤原みどり・矢来博司・西村卓也・林文(2006)：Satellite Data Gives Snapshot of the 2005 Pakistan Earthquake(衛星観測が2005年パキスタン地震を一目瞭然にした)，EOS(米国地球物理学連合会報)，2006年2月14日号，73-77.

- ・高島和宏・石本正芳・町田守人・藤咲淳一・小門研亮(2006)：機関報告：国土地理院における測地 VLBI ， 2005 年度 VLBI シンポジウム集録，5-8.
- ・高島和宏(2006)：VLBI 施設の一般公開と PR 手法，2005 年度 VLBI シンポジウム集録，124-127.
- ・小門研亮・藤咲淳一・高島和宏(2006)：VLBI 観測データのグローバル解析，2005 年度 VLBI シンポジウム集録，128-131.
- ・石井敦利・小山泰弘・市川隆一・久保木裕充・高島和宏・藤咲淳一(2006)：CARAVAN2400 小型電波望遠鏡の現状報告，2005 年度 VLBI シンポジウム集録，148-151.
- ・紀小麗・白井宏樹・鈴木啓・何金蘭・藤原智・福崎順洋・宇津木充(2006)：Modelling of spatial-temporal changes of the geomagnetic field in Japan (日本域における地磁気時空間モデルの構築)，Earth Planets and Space，58，757-763.
- ・白井宏樹・紀小麗・鈴木啓・何金蘭・宇津木充(2006)：日本の地磁気測量と地磁気モデル，Conductivity Anomaly 研究会 2005 年論文集，25-29.
- ・竹本修三・福田洋一・東敏博・木村勲・平岡喜文・檜山洋平・中川弘之・本田昌樹・田中俊行・青木治三・橋爪道郎・雨宮秀雄・鈴木平三(2006)：東アジア・東南アジアにおける絶対重力基準網の確立，測地学会誌，第 52 巻，第 1 号，51-95.
- ・平井英明・横川薫・齋田宏明・湯通堂亨・植竹政夫(2006)：平成 17 年(2005 年)福岡県西方沖を震源とする地震に伴う測地測量の取り組み，国土地理院時報，第 109 集，35-43.
- ・吉池健・鈴木実・根本恵造・飯村友三郎・成田次範・後藤清・菅富美男・田中和之・山本宏章・梅沢武・塩谷俊治(2006)：平成 16 年度(2004 年度)都市再生街区基本調査について，国土地理院時報，第 109 集，65-79.
- ・成田次範・高原正勝・田中和之(2006)：基本測量(測地測量)測量成果電子納品要領(案)について，国土地理院時報，第 109 集，81-89.

[測図部]

- ・大木章一・村上亮・渡辺信之・浦部ぼくろう・宮脇正典(2005)：航空機搭載型合成開口レーダー(SAR)により計測された浅間火山 2004 年噴火による火口クレーター内の地形変化，火山，Vol.50，No.5，401-410.
- ・中村孝之(2005)：災害調査に対する GPS/IMU と電子基準点の現状 写真測量とリモートセンシング，Vol.44，No.2，5-6.
- ・渡辺信之(2005)：航空機 SAR による災害観測，写真測量とリモートセンシング，Vol.44，No.2，20-21.
- ・浦部ぼくろう・渡辺信之・村上亮(2005)：航空機搭載型合成開口レーダー(航空機 SAR)による浅間山火口内の観測，国土地理院時報，第 107 集，15-20.
- ・石田和男・鯉淵浩二・浦部ぼくろう(2005)：平成 16 年の台風災害に対する測図部の取り組み，国土地理院時報，第 107 集，23-25.
- ・石田和男・鯉淵浩二・首藤隆夫・中川俊・浦部ぼくろう(2005)：平成 16 年(2004 年)新潟県中越地震に対する測図部の取り組み，国土地理院時報，第 107 集，45-48.
- ・菱山剛秀(2005)：地名のローマ字表記，国土地理院時報，第 108 集，65-75.
- ・笹川啓・石関隆幸(2005)：ALOS を想定した SPOT5 圧縮画像による地物判読検証，日本写真測量学会平成 17 年度秋季学術講演会発表論文集，17-20.
- ・武田浩志・大山容一・柴田光博・大木章一(2005)：トゥルーオルソのための DSM 自動生成手法の検討，

日本写真測量学会平成 17 年度秋季学術講演会発表論文集, 103-106.

- ・石田和男・鯉淵浩次・首藤隆夫・中川俊・浦部ぼくろう(2006) :平成 17 年(2005 年)福岡県西方沖を震源とする地震に対する測図部の取り組み, 国土地理院時報, 第 109 集, 51-53.
- ・浦部ぼくろう・渡辺信之・村上亮(2006) : Topographic Change of the Summit Crater of Asama Volcano during 2004 Eruption Derived from Airborne Synthetic Aperture Radar (SAR) Measurements (航空機搭載合成開口レーダ(SAR)観測による浅間山 2004 年噴火に伴う火口内の地形変化), 国土地理院報告(欧文), 第 53 巻, 1-6.

[地理調査部]

- ・常住春夫・長谷川学・佐藤浩(2005) : Swift action taken by the Geographical Survey Institute to analyze and provide landslide information on the Mid Niigata Prefecture Earthquakes of October 23, 2004 (2004 年 10 月 23 日、新潟県中越地震 斜面崩壊・地すべり災害状況を迅速に把握・提供した国土地理院の取り組み), ICL (国際斜面災害研究機構) 総会・シンポジウム会報, 275-284.
- ・飯田誠・鈴木義宜・北原敏夫(2005) :平成 16 年の台風災害に関する地理調査部の取り組み, 国土地理院時報, 第 107 集, 27-30.
- ・鈴木義宜・丹羽俊二・田口益雄・関崎賢一・長谷川学・飯田誠・門脇利広(2005) :新潟県中越地震の災害状況図作成について, 国土地理院時報, 第 107 集, 53-63.
- ・北原敏夫・鈴木義宜・野口高弘・飯田誠(2005) :航空レーザ測量を用いた積雪深計測作業, 国土地理院時報, 第 107 集, 65-69.
- ・中島秀敏(2006) :2004 年スマトラ島沖地震及びインド洋津波災害におけるスマトラ島・アチェ州被害状況現地調査, 国土地理院時報, 第 109 集, 3-13.
- ・新西正昭・齋藤俊信・渡邊哲也(2006) :北海道霧多布地区湖沼湿原調査, 国土地理院時報, 第 109 集, 99-108.
- ・飯田誠・大塚力・安喰靖(2006) :治水地形分類図の概要について, 国土地理院時報, 第 109 集, 109-119.
- ・岡谷隆基・丸山弘通・佐々木久和・矢口秀則・永山透・榎場新一・安部雅俊・岸本紀子(2006) :Progress of Global Mapping Project since Johannesburg Summit in 2002 (ヨハネスブルグサミット以降の地球地図プロジェクトの進展), 国土地理院報告(欧文), 第 53 巻, 7-16.

[地理情報部]

- ・大野裕幸(2005) :電子国土 Web システムの仕組み, 建設関連業月報, 10 月号, 11-14.
- ・石田全平(2005) :平成 16 年(2004 年)新潟県中越地震に対する地理情報部の取り組み, 国土地理院時報, 第 107 集, 49-51.
- ・河瀬和重・大野裕幸(2006) :地理情報データベースについて, JACIC 情報, 81 号, 47-51.
- ・根本正美・丹羽俊二(2006) :地図の立体視で地形を見る - 国土地理院ホームページにおける地図の立体視サービス -, 月刊「地理」, 3 月号, 8-9.
- ・藤村英範・大野裕幸(2006) :Realization of data sharing as an approach to disaster with Digital Japan Web System (電子国土 Web システムによる災害への取り組みとしてのデータ共有の実現), 国土地理院報告(欧文), 第 53 巻, 17-26.
- ・根本正美(2006) :地図を立体視する, 「地理・地図資料」, 4 月号, 1-4.

[測地観測センター]

- ・小島秀基・小清水寛・米溪武次・根本盛行・岩田昭雄・湯通堂亨・雨貝知美・矢萩智裕・今給黎哲郎・岩田和美(2005)：平成 16 年(2004 年)新潟県中越地震に伴う GEONET の緊急対応と地殻変動，国土地理院時報，第 107 集，71-77.
- ・矢萩智裕・湯通堂亨・小島秀基・畑中雄樹(2005)：GEONET における緊急解析の現状，国土地理院時報，第 108 集，29-37.
- ・小清水寛・雨貝知美・石倉信広・根本盛行・納田俊弘・山口和典・植田勲(2005)：GPS 連続観測データを用いた地殻監視支援装置の開発，国土地理院時報，第 108 集，39-48.
- ・畑中雄樹・山際敦史・湯通堂亨・宮原伐折羅(2005)：GEONET のルーチン解の精度評価，国土地理院時報，第 108 集，49-56.
- ・畑中雄樹(2006)：地球センサーとしての GPS 連続観測網の高度化 - GPS 観測量に含まれるシグナルとノイズの分離 - ，測地学会誌，第 52 巻，第 1 号，1-19.
- ・小清水寛・畑中雄樹・根本盛行・西村卓也・今給黎哲郎・村上亮・藤原智(2006)：平成 17 年(2005 年)福岡県西方沖を震源とする地震に伴う地殻変動と断層モデル，国土地理院時報，第 109 集，45-49.
- ・小清水寛・石倉信広・雨貝知美・根本盛行・岩田和美・山田晃子・沼川邦男・志茂久男(2006)：浅間山周辺に設置された機動観測点の障害要因の究明と対策について，国土地理院時報，第 109 集，55-63.
- ・山際敦史・畑中雄樹・湯通堂亨・宮原伐折羅(2006)：Real-time capability of GEONET system and its application to crust monitoring (GEONET のリアルタイム化と地殻監視への応用)，国土地理院報告(欧文)，第 53 巻，27-33.

[地理地殻活動研究センター]

- ・宇根寛・熊木洋太(2005)：特集 新潟県中越地震「災害地理情報の緊急提供」，月刊地理，Vol. 50, No. 6，74-78.
- ・宇根寛・奥山祥司・根本寿男(2005)：平成 16 年(2004 年)新潟県中越地震に関する地理情報の緊急提供について，地図，Vol. 43, No. 2，1-10.
- ・高橋保博(2005)：地震予知の歴史と予知手法の進歩，機関誌「Re」，No. 147.
- ・熊木洋太(2005)：南海地震と地殻変動，建通新聞，第 5603 号，8-9.
- ・村上亮(2005)：GPS 連続観測により明らかとなった浅間山の火山活動に伴う地殻変動，国土地理院時報，第 107 集，9-13.
- ・佐藤浩・関口辰夫・神谷泉・長谷川裕之・秋山實・小白井亮一(2005)：新潟県中越地震で生じた斜面崩壊と地質，積雪深等データの重ねあわせ，国土地理院時報，第 107 集，79-90.
- ・神谷泉(2005)：ALOS PRISM の正射画像作成プログラムの開発，国土地理院時報，第 108 集，57-63.
- ・村上亮(2005)：GPS 連続観測結果が示唆する浅間火山のマグマ供給系，火山，Vol. 50, No. 5，347-361.
- ・大木章一・村上亮・渡辺信之・浦部ぼくろう・宮脇正典(2005)：航空機搭載型合成開口レーダー (SAR) 観測による浅間火山 2004 年噴火に伴う火口クレーター内の地形変化，火山，Vol. 50, No. 5，401-410.
- ・宗包浩志(2005)：A semi-analytical estimation of the effect of second-order ionospheric correction on the GPS positioning (電離層伝搬遅延二次項のもたらず測位誤差の半解析的評価法について)，Geophysical Journal International, No. 163，10-17.
- ・佐藤浩・関口辰夫・神谷泉・本間信一(2005)：斜面崩壊の危険度評価におけるニューラルネットワークと最尤法分類の比較，地すべり，Vol. 42, No. 4，13-22.

- ・村上亮(2005) : 最近 10 年の地殻変動観測の進歩と火山学への貢献, 火山学会, Vol.50 特別号, S27-S47.
- ・佐藤浩・建石隆太郎・頼理沙(2005) : 1 km グリッド中国土地利用データを用いたアジアの土地被覆における水田のマッピング, 写真測量とリモートセンシング, Vol.44, No.5, 73-81.
- ・佐藤浩・宇根寛・小荒井衛(2005) : パキスタン北部地震に対するイコノス画像の判読と解釈, 写真測量とリモートセンシング, Vol.44, No.6, 2-3.
- ・佐藤浩・牧田肇・八木浩司・加藤悟・宮坂聡(2005) : LIDAR による新たな植生図作成手法の検討, 写真測量とリモートセンシング, Vol.44, No.6, 36-43.
- ・神谷泉(2006) : ALOS PRISM からの DEM 及び正射画像作成プログラムの開発と事前検証, 写真測量とリモートセンシング, Vol.45, No.1, 33-42.
- ・Jiro Segawa, Masao Komazawa, K. Vijay Kumar, Eiji Nakayama, E. John Joseph, Shigekazu Kusumoto, Ken-ei Onodera, and Yuki Kuroishi (2005) : Examination of consistency of marine gravity with land gravity in and around the Japanese Islands using a helicopter-borne gravimeter (日本列島近傍における海域重力と陸域重力の整合性に関するヘリコプター搭載重力計を用いた調査), Earth, Planets and Space, Vol.57, 243-252.
- ・小沢慎三郎・村上亮・海津優・畑中雄樹(2005) : Transient crustal deformation in Tokai region, central Japan, until May 2004(2004 年 5 月までの東海地方の遷移的な地殻変動), Earth, Planets and Space, Vol.57, No.10, 909-915.
- ・西村卓也・藤原智・村上亮・水藤尚・飛田幹男・矢来博司(2006) : Fault model of the 2005 Fukuoka-ken Seiho-oki earthquake estimated from coseismic deformation observed by GPS and InSAR (GPS と干渉 SAR による地震時地殻変動から推定した 2005 年福岡県西方沖地震の断層モデル) Earth, Planets and Space, Vol.58, 51-56.
- ・飛田幹男・水藤尚・今給黎哲郎・加藤敏・藤原智・村上亮(2006) : Outline of vertical displacement of the 2004 and 2005 Sumatra earthquakes revealed by satellite radar imagery (衛星レーダー画像解析による 2004 年・2005 年スマトラ地震に伴う隆起・沈降), Earth, Planets and Space, Vol.58, No.1, e1-e40.
- ・秋山實・佐藤浩(2006) : 航空レーザ測量による積雪深分布の計測と積雪水量の推定, 写真測量とリモートセンシング, Vol.45, No.3, 24-33.
- ・神谷泉(2006) : ALOS PRISM 画像の標定プログラムの作成とシュミレーションデータを用いたプログラムの検証, 応用測量論文集, No.16, 76-86.
- ・熊本洋太(2006) : スマトラ沖大地震及びインド洋津波被害政府調査団員としての調査, 国土地理院時報, 第 109 集, 15-20.
- ・飛田幹男・今給黎哲郎・水藤尚・加藤敏・林文・村上亮・藤原智(2006) : 衛星 SAR 画像分析による 2004・2005 年スマトラ沖地震に伴う隆起沈降域の把握, 国土地理院時報, 第 109 集, 21-32.
- ・神谷泉・小白井亮一・太田正孝・磯部民夫・阿久津修・門脇利広(2006) : 都市再生のための精密三次元空間データ利用技術の開発, 国土地理院時報, 第 109 集, 121-127.
- ・宗包浩志・福崎順洋(2006) : A plate motion model around Japan (日本周辺のプレート連動モデル), 国土地理院報告 (欧文), 第 53 巻, 35-39.
- ・長谷川裕之(2006) : Evaluations of LIDAR reflectance amplitude sensitivity towards land cover conditions(土地被覆分類に対する航空レーザ反射強度データ特性の評価), 国土地理院報告(欧文), 第 53 巻, 43-50.

- ・今給黎哲郎・小沢慎三郎・矢来博司・西村卓也・水藤尚(2006) :Crustal deformation by the Southeast-off Kii Peninsula Earthquake (2004年9月5日紀伊半島沖・東海道沖に発生した地震の地殻変動) , 国土地理院報告(欧文) , 第53巻 , 51-56.
- ・宇根寛(2006) :人工衛星データによるパキスタン北部地震の地殻変動の検出 , S&T , 78 , 31-32.
- ・今給黎哲郎・西村卓也(2006) :地殻変動観測から見た新潟県中越地震の断層モデル ,月刊地球号外 ,Vol.53 , 76-81.
- ・宇根寛(2006) :土地の成り立ちを知り、地震の被害を知る , 公共建築 , Vol.48 , No.2 , No.188 , 28-29.
- ・西村卓也(2006) :測地データによる1952年十勝沖地震の断層モデル ,月刊地球 ,Vol.28 ,No.7 ,441-447.

執筆者、題名、論文名、発表項の順に掲載

注)この一覧は、国土地理院各部、各センター、各地方測量部、支所及び各測地観測所に対する照会に基づき作成した。